

交通安全いきいき情報

令和8年2月号



富山県警察本部交通企画課 (076)441-2211 (内線 5043)

令和7年中の県内の交通死亡事故(30件30人)

令和7年中の県内の交通人身事故発生件数は、平成13年以来の増加となり、交通事故死者数は30人で、前年より8人増加しました。

● 事故類型別死者数 ()内は高齢者数(内数)

車両相互

自動二輪車や自転車等の軽車両含む



5人 (3人)

人×車両

※手押し一輪車を含む



14人 (13人)

車両単独



11人 (7人)

● 交通死亡事故の特徴

死者の7割以上が高齢者!

死者30人中、65歳以上の高齢者が23人(構成率76.7%)と8割に迫る勢いで、前年の16人(同72.7%)に比べ人数、構成率ともに増加しました。

依然として高齢者が被害者となる死亡事故が多く発生しています。



単独事故が増加!

死者30人中、車両単独事故による死者は11人で、昨年の6人より5人増加しました。



悲惨な事故を防ぐために歩行者ができること

今号は、昨年の交通死亡事故についてお伝えしました。

高齢歩行者の方の多くが
夜間・道路の横断中

に被害に遭っておられます。

夜間は、ドライバーから歩行者は見えていないかもしれないと考え、

- 外出の時は反射材を身に付ける
- 道路を横断する前はもちろん、横断中も安全確認をしながら渡る

を意識して行動し、悲惨な交通事故を1件でもなくしましょう！

高齢歩行者の横断中の事故が多い!

死者30人中、歩行中の事故死者は14人と約半数を占めました。そのうち、横断中の事故死者は10人で、全て高齢者でした。

横断中の事故のほとんどが、ドライバーから見て右から左への横断中の歩行者と衝突する事故でした。



歩行者事故の多くは夜間に発生!

歩行中の死者14人のうち、夜間の死者は11人と8割弱を占めました。

夜間の死者のほとんどはLEDライトや反射材等光るもの着用していませんでした。



富山県内の交通事故発生状況 (令和8年1月末現在)

年	区分	発生件数	死者数	負傷者数
令和8年		126件	1人	139人
(高齢者)		29件	1人	18人
令和7年		189件	4人	206人
(高齢者)		52件	4人	31人

※ 発生件数の高齢者とは、65歳以上の方が第一当事者となった事故件数です。